

# 元気 いっぱい!



▲学級旗を囲んだ篠田先生と3年1組のみなさん。この旗は、クラスマッチや修学旅行、運動会など、学校行事があるたびに大活躍します。



▶旗の絵を描いた吉村さん(左)と小林さん(右)。

## 高千帆中学校 3年1組の学級旗

高千帆中学校では、4月に新学年になると、「学級旗」を作るのが伝統となっています。今年の「学級旗」の中で、出来栄が評判になっている3年1組におじゃましました。教室に足を踏み入れたとたん、目に飛び込んできた旗の絵と担任の篠田英樹先生のお顔を見比べて、笑いをこらえることができませんでした。(先生、ごめんなさい) 絵がうますぎます!!

手がけたのは、吉村愛美さんと小林由佳さんのお二人です。学級写真を見ながら先生の似顔絵を描いてみたところ、「そっくり〜!」とみんなが、思わず声を上げるほどの出来に。そこでセンス良く、背景を黒く塗りつぶし、中央に大きく先生の顔を際立たせてみたところ、描いた本人たちもビックリの最高の旗が完成したのです。

「全体的に落ち着いているが、行事では盛り上がりを見せ真剣に取り組む」と、篠田先生が太鼓判を押すクラス。教室の前からだけでなく、後ろからも壁に張られた「もう一人の先生」に見守られ、3年1組のみんなは、中学校生活最後の一年を元気いっぱい過ごしています。

厚狭少年野球スポーツ少年団が第25回全日本学童軟式野球大会山口大会で準優勝し、九州、四国、中国地方の代表16チームが出場する「しまなみ学童軟式野球大会」に出場することになりました。「今年はチームワークがよくて、まとまりのあるチームですね。」と選手たちの活躍に目を細めるのは、長年、同少年団のお世話を続けている総監督の河村静雄さん。ケガで予選を欠場した主力選手の穴を控えの5年生みんなで補い、試合の後半に逆転する粘り強い試合運びで県大会を勝ち上がりました。

「誰か一人が活躍するのではなく、みんなでつないで得点を重ねる全員野球のチームです。大会ではみんなで楽しい野球ができるようがんばります。」と、キャプテンの鮎川雄輔君(厚狭小6年)は、大会に臨む決意を力強く話してくれました。

一生懸命に選手がボールを追いかけるグラウンドでは、時折、大声でアドバイスを送る河村さんの声が響きわたります。「せっかく小学校から頑張っているのだから、高校までは野球を続けてもらいたいですね。そして野球を通じ、礼儀正しく、強い心を持った大人になってくれることを願います。」技術のレベルアップだけでなく、成長していく子どもたちの将来にも思いを寄せる、河村さんのそんな熱い気持ちが選手にも伝わり、チームの快進撃につながっているのかもしれない。

「しまなみ学童軟式野球大会」は、8月13日から愛媛県今治市を中心に開催されます。厚狭少年野球スポーツ少年団の大会での活躍を心からお祈りします。



「夢はもちろん、プロ野球選手です。」



「しまなみ学童軟式野球大会」に山口県代表として出場する

厚狭少年野球スポーツ少年団